学校番号	３０１４

令和８年度　工業科（工学系）

教科	工業	科目	建築実習	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建設関連の知識や技術について、実習を通して習得します。班員全員が協力し、責任を持って行うというチームワークにより、協力の態度を養い、定められた規律を守り、技術者に必要な資質を体験的に理解して身につけましょう。４つの分野について実験・実習を行います。

2　学習の到達目標

・建設に関する各分野における技術への興味・関心を高め、建築・設備・土木の広い視野と倫理観を身に付ける。
・各分野における実験・実習方法について学習し、理解する。
・同じグループの者と協力して作業を行うことで、チームの一員としての自覚をもち、コミュニケーション力や協調性を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・建設に関する知識を習得し、技術の発展と、安全と環境に配慮したものづくりを合理的に計画・実行できる技能を身につけている。 ・現代社会における建設技術の意義や役割を理解し、将来の技術者としての意識をもち、十分に考えて的確に処理する力を身に付けている。	・各種実習において、知識・技能を習得したうえで、自ら思考し、他者と協力して適切に判断して考察することができる。 ・各種実習における諸問題の適切な解決をめざして、広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	・各実習に興味・関心を持ち、班員と協力しながら、積極的に取り組んでいる。 ・課題については期限を守り、適切な内容で仕上げて提出している。 ・実習中は、都度振り返りをしながら、その改善に努め、技能向上をめざして意欲的に取り組んで創造的・実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動（2 年）

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	材料	モルタルの供試体作成 モルタルの強度試験 コンクリート供試体作成 コンクリートと鉄筋の強度試験 構造試験(応力度分布測定) 構造試験(梁のたわみ測定)	a:建設材料と構造力学に関する理解及び各実習における技能を身に付けている。 b:各実習及び計算における適切な思考と判断ができる。 c:建設材料と構造力学に関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート	ワークシート 実習課題	実習観察 振返りシート
	測量	水準測量(昇降式) 水準測量(器高式) 角測量(据付け) 角測量(測角・測距) トラバース測量1 トラバース測量2	a:測量機器の操作方法と測量計算に関する理解及び各実習における技能を身に付けている。 b:各種計算と実習における適切な思考と判断ができる。 c:測量技術に関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	ワークシート	ワークシート 実習課題	実習観察 振返りシート
	設計	住宅設計概要・理論 建築表現技術 設計演習 コンセプト立案 エスキス 図面作成 プレゼンテーション	a:建築設計に関する基本的知識を身に付けている。 b:建築設計とその設計計算について適切に思考と判断ができる。 c:建築設計とその設計製図に関心をもち、意欲的に学習する態度を身に付けている。	ワークシート	ワークシート 実習課題	実習観察 振返りシート
	ＣＡＤ	ＣＡＤシステム概要・理論 基本操作 通り芯、寸法、通り芯記号 柱、壁、間仕切壁 壁と建具 階段平面図	a:ＣＡＤの操作方法と建築製図に関する基本的知識を身に付けている。 b:ＣＡＤと建築製図の特徴について適切に思考と判断ができる。 c:ＣＡＤと建築製図に関心をもち、意欲的に学習する態度を身に付けている。	ワークシート	ワークシート 実習課題	実習観察 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度